

KSKP

たびだち つうしん

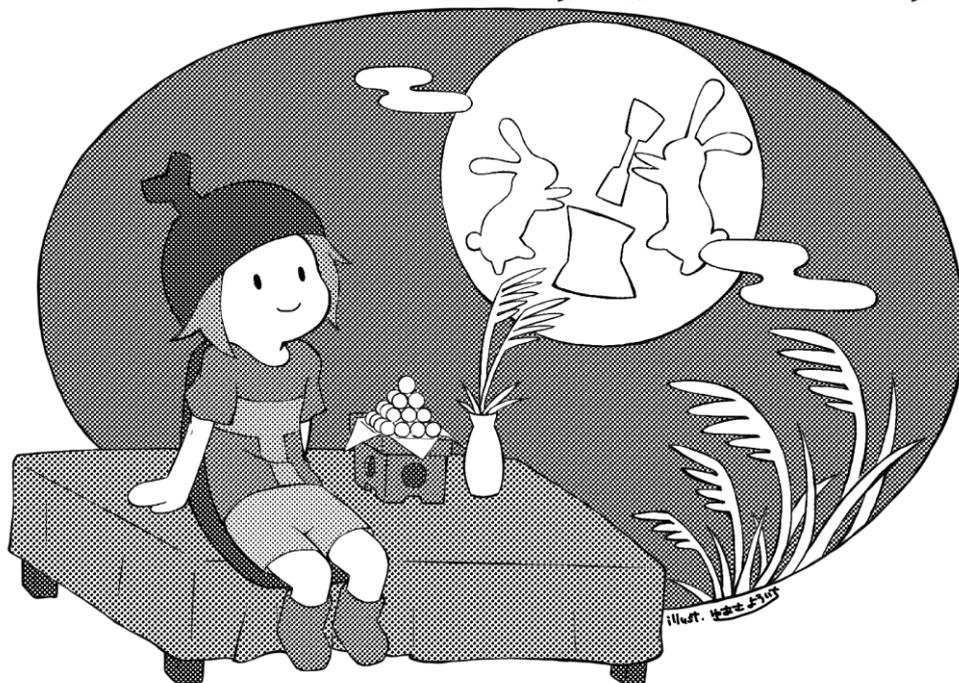
出

発

通

信

NPO法人 出発のなかまの会 173号



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物承認
毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日) 発行

もくじ
目次

ねん 1年ぶりのみらくるクラブ開催!	2
そうかい お NPO総会を終えて	3
ことし 今年のピープルファーストは、初のオンライン!	4
しんぶん どんどん新聞より	5
こうみょう み 光明はいつ見えるのか	6
ちいき く わたしたちは地域で暮らしているんだ	8
こそだ にっき スタッフ子育て日記	9
かつどう 活動のあと	10

1年ぶりのみらくるクラブ開催！

去年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、みらくるクラブも中止となり、今回1年ぶりの開催となりました。例年だと夏はキャンプをおこなうのですが、やはりまだ泊まりでの活動は難しいと断念。でも、子どもたちと夏の思い出となる活動をしたいと日帰りでのデイキャンプを奈良県の平群にある畑で開催することとなりました。

畑に到着したら、はじまりの会をして、竹水鉄砲作りです。竹にきりで穴を開け、つま楊枝を十字に刺し、スポンジを巻き付け、布を巻きます。きりで穴を開けるのに苦戦する子の中から中高生ボランティアの子どもたちが丁寧に教えてあげていました。スポンジを調整しながら水がピューっと出るちょうどいい感じにするのは難しく、スポンジが厚いと竹に通らないし、厚さが足りないと水が自分の方にこぼれ出てしまいます。完成した竹水鉄砲を試しに…と始めたはずが、楽しくなってビショ濡れになる子もいました。昼休憩後、本格的に水遊び。低年齢の子は半紙を的にして竹水鉄砲を撃ちました。小学生は水かけ合戦になりました。「水足して！」とポリバケツの水を何度も足しながら、びしょ濡れになって水遊びを満喫しました。濡れた後は、ドラム缶風呂！ぬるめの湯が、暑い日でも濡れた体には気持ちよかったです。その後は、牛乳パックにホットドックを入れて焼くカートンドック作りをして、最後にスイカ割りをしました。自由時間には竹のすべり台や竹林のハンモックで遊んだり、鬼ごっこをしたり、バットやカエルを捕まえたり、自然の中を思い切り走り回り遊びました。



今回は、小学生までは参加者としてみらくるクラブに来ていた子どもたちが中高生になり、ボランティアとして参加してくれました。A君（中学2年）は、電車の中で荷物を座席に置いたまま先頭車両に行った担当の子の荷物をせっせと片付けてくれていましたし、B君（中学1年）は担当の子が女の子だったこともあり、テントで着替えが終わるのをしっかり待っていてくれました。C君（中学2年）は初めてのボランティア参加にととても緊張していた一人です。でも、「一緒に楽しんだらいいよな。」と行く前に言っていた通り、担当の子の興味に合わせて一緒に遊んでいました。そして、振り返りで「（担当した子が）言うこと聞いてくれへんかったけど、楽しかった。」と感想を話してくれました。ボランティア参加は初めてという子も多くいたので、みんな出発前は緊張気味でしたが、これまで担当してもらってきた子どもたちなので、どんな風に担当の子とも関わるのか、距離感が自然と身についているように見えました。小学生の時にボランティアと一緒に付き合ってくれたことが

楽しかったことを憶えていて、それが強みになっていると感じました。

中高生の子供たちは、まだまだ自分が遊びたい気持ちもあったと思いますが、“今日はボランティア”と、担当の子にペースを合わせて教えたり、待ったり、追いかけたり一生懸命付き合う姿に感動しました。みらくるクラブを卒業した子供たちの多くがボランティアとして参加してくれた今回は、感慨深い特別な回となりました。

(マサミ・G)

NPO 総会を終えて

2021 年 5 月 30 日に出発のなかまの会会議室にて、第 22 回定時総会をおこないました。今年の総会も、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、会員の皆さまに集まっておこなうのではなく、事前に議案書を送って見ていただき、書面で表決することにし、当日は最少人数での開催としました。2 年目とはいえ、わかりにくいやり方であったにもかかわらず、皆さまのご協力のおかげで、正会員 122 名のうち出席者 114 名（うち書面表決 41 名、委任状 69 名）で、定款に定める総会として成立いたしました。

議案書の内容についてのメンバーへの情報提供は、例年通りたくさんの方の写真やイラストを使って事業報告や事業計画の説明をおこないました。今年は、より密を避けるためにグループホーム 6 軒とたびだち共働作業所、ヘルプセンター・すきっぷの 8ヶ所を ZOOM でつなぎ、配信することにしました。初めての試みで、どうなることかとみんながドキドキする中、無事に説明会を終えることができました。2021 年度事業計画では、車の買い替えや新たに購入した物件の活用について検討中であることを報告しました。

2020 年度末に、当会で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した際には、多岐にわたりご支援いただき、本当にありがとうございました。あらためて、自分たちの支援を振り返り、新しい生活様式を考える機会となりました。2021 年度も厳しい状況が続きますが、活動を停滞させることなく継続し、引き続きさまざまな問題に積極的に関わっていきたく思います。

(ヨシミ・I)

今年のピープルファーストは初のオンライン！！



2021 年のピープルファーストの会場は兵庫の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染対策で今年はオンラインで開催されました。自立生活センター・どんどんでは、作業所でプロジェクターを使って大きな画面で見よう！ということになり、事前に希望者を募って感染対策をしながら少人数での参加になりました。集まらないメンバーは自宅から参加していました。

開会の 30 分前から集まり、ピープルファーストの T シャツを買った人はそれぞれ着てきていて、色自慢をしていました。2 枚買ったメンバーさんもいました。

開会のあいさつなどが終わると、全国の仲間から集まったビデオメッセージが流れ始めました。みんな仮装をしたり流行の歌を歌ったり楽しい動画ばかりで、見ていた人から「ずるいわ～、おもしろい！」と声が上がりました。どんどんでもビデオを撮って送っていたのですが、自分のやりたいことやコロナの文句など、なんというか『ツツウ??』な内容だったため、自分たちの動画が地味に見えてしまいました（笑）それでも全国の仲間がみている中でビデオが流れているのを見て、「全国デビューや～！」と盛り上がっていました。

その後は津久井やまゆり園の事件や強制不妊手術の当事者からの体験談や、韓国やスウェーデンから活動の報告もありました。韓国の団体では今度全国大会がオンラインであるとのことで日本の仲間たちにも参加してほしいとお誘いがありました。

後半はピープルファーストの歌を歌いみんなの気持ちが一つになっていました。そのまま大会スローガンをみんなで言いました。

最後にみんなが楽しみな、来年の会場の発表がありました。次回のピープルファーストの会場は…、北海道です！！そこからは北海道に行ったら何がしたい何が食べたいなどみんな行く気満々で楽しい話が続きました。

当日はいつもと違う環境だったのもあってか、あまり集中できていなかった様子の K さんでしたが、3 日後、作業所にピープルファーストの T シャツを着てきていました。T シャツの話をするするとシャツの文字を指さし「♪ピープルファースト、ピープルファースト、1・2・3、ダー！始めよう～」と歌っていました。ちゃんと印象に残っていたんですね。

コロナ禍がいつ終わるのかわからなく、みんながモヤモヤした気分日々を過ごしています。来年は北海道に行けるようになっていくといいのですが…。

(ジュン・M)

しんぶん ばんぱう
とんとん新聞No.190 より抜粋しています



ガイドヘルパー養成講座をしました

にちじ こうえん ねん がつ にち ぼしよ かいぎしつ
日時:講演:2021年3月7日 場所:すきっぷ会議室

◆みなさん、がんばって!

ガイドヘルパー養成講座でKさんが講師をしました。

はじ まえ じゅこうせい かた きょう はなし こえ
始まる前に受講生の方から「今日、話をしてくれるんですか?」と声をかけられました。

Kさんは「ハイ」と答えました。今年(ことし)はコロナ対策(たいさく)のため受講生(じゅこうせい)は5人位(にんくらい)でした。Kさんは

きんちょう ひとりく しゅうじ かいぎ はなし せつめい むすか はな
緊張(きんちょう)しながら一人暮らし(ひとりく)や習字(しゅうじ)、とんとん会議(かいぎ)の話(はなし)をしました。ILPの説明(せつめい)が難(むずか)しく、話す

のが大変(たいへん)でした。学校(がっこう)の遠足(えんそく)で若草山(わかくさやま)に行った時(とき)の写真(しゃしん)も見(み)てもらいました。受講生(じゅこうせい)の皆さん(みなさん)

しんけん はなし き つぎ じっせんへん
は真剣(しんけん)に話(はなし)を聞(き)いてくれました。次(つぎ)は、いよいよ実践編(じっせんへん)です。

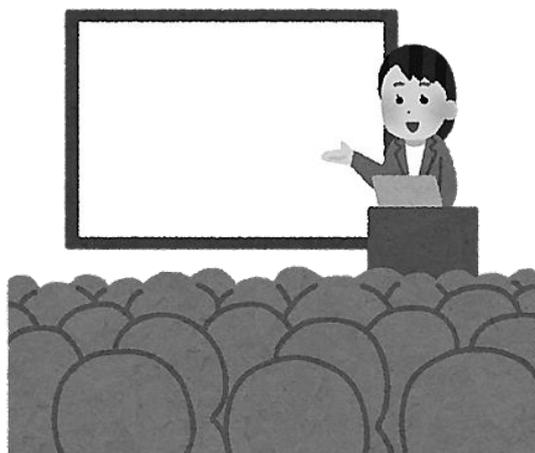
Kさんの感想(かんそう)

ちいさいときのはなしをしました。しょうがっこうのはなしもしました。

ちゅうがっこうのときに、たのしくなかったです。

ともだちもほしかったです。たのしくなかったです。

こうししてるとき、どきどきでした。きんちょうしてました。



光明はいつ見えるのか

新型コロナウイルスが世界中で流行り出してから 1 年半が経過しました。新規感染者数を見ては一喜一憂する日々が続いています。当初は大阪府下で 100 人を超えたくらいで感じていた恐怖が、1000 人超え、2000 人超えが続く第 5 波のなかではそれほど感じなくなってきました、そのことに恐怖しています。この間、感染対策について学ぶ機会も多く得ました。感染対策の基本はマスクの着用と手指消毒、ソーシャルディスタンス、換気です。飛沫感染、接触感染、エアロゾル感染それぞれの感染経路を断つことが重要だそうです。

現在、急ピッチでワクチン接種がすすめられています。高齢者、障害者に続いて、介護の仕事に従事する者に対して優先してワクチン接種をするという段取りでワクチン供給が計画されていましたが、国からの供給がうまく機能せず、障害者も介護者も接種スケジュールが大幅に遅れてしまいました。自治体や医療機関でも優先接種の枠が順次解放されたのですが、予約が殺到してなかなかとれず、民間企業等による職域接種のほうが早く接種できることになりました。結果として接種できるのであれば良いとも考えられますが、力のある企業から救われていく構造に少しショックを受けました。どなたにも速やかに供給されるしくみが準備されればこのような事態になりませんでした。



緊急事態宣言の発出を受けて、8 月に予定されていた大阪府と障害者団体との話し合いの場である「オールラウンド交渉」が延期されました。宣言が出されるとやはり、日常生活においても様々な活動を考え直す場面が増えるのですが、このような事態のなかで楽しみを見つけていくことも大切だと思います。グループホームで暮らすメンバーは、アンドロイド搭載のテレビに買い換える人が増えました。動画配信サービスで自分の好みの動画を楽しまれています。旅行に行けなくても、地方から季節の果物を取り寄せて楽しむこともできます。寝具を見直したり、新しいソファを買ったりして部屋で快適に過ごせるよう工夫しています。とはいえ、やはり私自身は、メンバーと一緒に遠方の知人に会いに行きたいし、毎年楽しみにしているスキーやスポーツ観戦、コンサートにも早く行きたいのが本音です。

新しい生活様式への転換をすすめる一方で、障害者の生活支援や福祉に携わる人材の育成は必要不可欠であるという観点に立ち、当会ではガイドヘルパー養成講座の実施や、社会福祉士等の実習生の受け入れに継続して取り組んでいます。支援の現場は人の出入りに敏感になっているのも事実であり、細心の注意を払いながら取り組んでいます。

ほんとう たいへん じょうきょう くに かん しゃかいほしやうしんぎかい
 本当に大変な状況ではあるのですが、国のほうでは、この間も、社会保障審議会において
 つぎ ほしやうかいてい む はな あ も
 次の報酬改定に向けて話し合いが持たれています。どうやらグループホームの再編成が検討
 されるようです。グループホームで暮らす障害者は現在14万人に達しています。以前は入所
 しせつ く ひと ほう おお れいわがねん りやうしやすう しせつ
 施設で暮らす人の方が多かったのですが、令和元年にグループホーム利用者数が施設
 にゆうしやすう うわまわ とうかい さいしよ わらくそ ねん かいせつ
 入所者数を上回りました。当会の最初のグループホーム和楽苦荘は1991年に開設しました。
 まだ制度化される前の話です。この時に入居されたメンバーは30年間グループホームで暮
 らしているということになります。くにじぎやう せいどか ねん げんざい
 国事業として制度化されたのは2006年です。現在は、グ
 ループホームを利用している障害者の高齢化や障害の重度化への対応だけでなく、パートナ
 ーとの同居を希望する方など、新たなグループホームのありようについて考えなければなら
 ない時期にきています。

グループホームの設置、運営は社会福祉法人やNPO法人などがその担い手の中心でしたが、
 みんかんえいりきぎやう さんにゆう ひろ あたら つぎつぎ かいせつ
 民間営利企業の参入も広がり、新しいグループホームが次々と開設されています。グループ
 ホームで新しい暮らしを始めるとき、利用者は希望に満ち溢れていると思います。やりたいこ
 とがたくさんあると思います。グループホームはその思いを受け止めてどのように支援するこ
 とができるのかが問われます。ちいきせいかつ たの ふあん こと つら
 地域生活は楽しいことばかりではなく、不安なことも辛いこと
 も起こります。そのときにどれだけ一緒に寄り添えるのか。グループホームが増えることで、
 りやうしや せんたくし ひろ もんだい しえん なかみ しつ いじ こうじやう たし
 利用者の選択肢が広がることはよいことですが、問題は支援の中身、質の維持と向上です。確
 かに利用者それぞれにさまざまな背景があり、支援が難しい場合もあります。事業所内で解決
 できない課題に、ちいき れんけい と く しえん ひつやう おち
 地域で連携して取り組むような支援のしくみも必要だと思ひます。しかし、
 おどろ こと しょうがいしえん かんが くに じちたい しょくいん しょうがいしや く
 驚くことに障害支援サービスのしくみを考える国や自治体の職員のなかには障害者の暮
 らしを実際に見たことがない人もいます。ですからこれまで何度も「実際に見に来て！」と訴
 えてきました。パンデミックでいっき ふきゅう ぎじゆつ じやうす かつやう
 パンデミックで一気に普及したウェブミーティングの技術を上手に活用した
 ら、もっと伝えられるでしょうか。

と かく いくく はや しゆうそく ところ いの
 兎にも角にも、一刻も早くこのパンデミックが終息することを心から祈るばかりですが、
 ひ つづ かんせんたいさく こう かつどう けいそく
 引き続き感染対策を講しながら活動を続けます。

(カオリ・I)



わたしたちは地域で暮らしているんだ

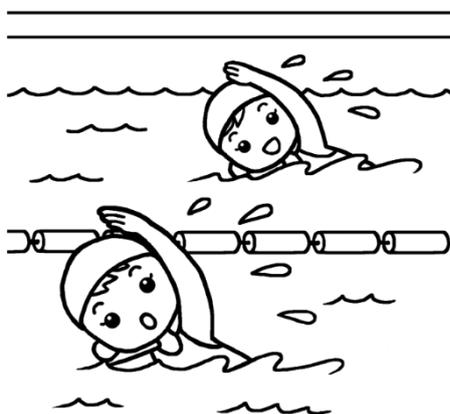
K さんは生野区民プールに毎週通っておられ、ウォーキングやスイミングを楽しんでいます。また、顔見知りの方々とのお話も楽しんでおられ、K さんを見かけると「おはよう」「頑張りや」など温かい言葉をかけてくださり、K さんも「おはよう」「がんばります」と言葉を返して、楽しく地域の方々と交流していました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い大阪に緊急事態宣言が出され、プールの活動を自粛せざるをえなくなり、K さんも少し寂しそうな表情で「明日、プール？」とスタッフに尋ねられることが多くなりました。

2月28日に緊急事態宣言が解除され、少し以前の生活に戻った頃、それに伴いメンバーの活動も徐々に再開され、K さんも毎週通っていた区民プールへ行くことができるようになりました。ところが、生野区民プールが改装工事の為、3月末まで休館になり、東成区民プールに通うようになりました。顔見知りの方々も東成区民プールに通っておられ、「あんたもこっちに来てるの？」と声を掛けてくれました。

改装工事が終わり、再び生野区民プールへ通うようになりました。久しぶりに再会した地域の方々は「久しぶりやな。元気にしてた？」と話しかけてくれて、K さんは「元気です～。また来ます。」と笑顔で返事されます。

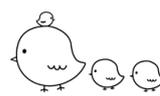
このような交流がまた戻ってきてK さんも充実した表情をされるようになりました。早くコロナ前の生活に戻ってきて欲しいと願うばかりです。

(マサヒデ・H)





こそだ にっき スタッフ子育て日記



今年6月に第一子が生まれました！！ほんとに可愛いです。愛しかないです。私は昔から子供が好きで、子供たちに関わる機会がたくさんありよく遊んでいました。ですが、我が子が産まれるまでに、少し不安もありました。私の周りには子供が可愛すぎて、我が子とを周りと同じようにしか思えなかったら…、とっていました。しかし、病院玄関で対面した我が子を見た瞬間に「我が子しか勝たん」と思い、大丈夫だと安心しました。

さて、私は、子供が生まれて1ヶ月間の育児休業を取得しました。現在は社会の流れとして、父親も積極的に育児に関わることができるようになっていきます。が、現実はまだまだのように思います。育児や産休の制度としては、「パパママ育児プラス」と「パパ休暇」という制度を使っています。

父親が育児を取る意味合いはたくさんあると思いますが、“母親のリフレッシュ”も大きな意味だと思います。出産を終えた母親はホルモンの急激な変化でマタニティーブルーになることもあり、もっと深刻になると産後うつ、産後クライシスといったさまざまな精神症状が出てきます。赤ちゃんが元気に誕生してくれたことは幸せですが、育児や成長を見守るなかで不安になることもあります。「新生児は寝てるだけ」とか、「男にはできないことがない」とよくいわれますが、そんなことはありません。24時間休みがない赤ちゃんのお世話に追われる時期にこそ、母親の気分転換や日常生活が送れるよう家事の分担やお祝いのお礼などなどやることは山積みです。



もし、これから私のような機会がある方がいれば、是非色々なことを調べて必要な制度や支援を利用してください。社会には、いろいろな制度があり、働き方があります。家族との時間や仕事との向き合い方、さまざまな形があると思います。一人ひとりに合った形で過ごせる社会になればと思います。

子供の名前をつける時、私の好きなマンガを参考にしました。そのマンガの台詞でこんなものがあります。

「10もらったら自分の1を上乗せして 11にして次の人へ渡す」
今まで教えて頂いてきたこと学んだことに自分ができていることを足して、今度は次の世代へ繋ぐことが出来れば良いと思います。

(タイチ・N)

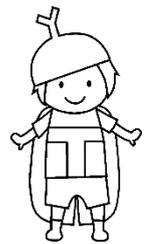
活動のあと

- | | |
|---|--|
| 6/3 松野農園会議/不登校・ひきこもり支援連絡会 | 7/18 ピープルファースト大会 in 兵庫 (オンライン) |
| 6/4 グループホームスタッフ全体会議/執行委員会 | 7/20 生野区自立支援協議会 |
| 6/5 みらくるゆーすと進路勉強会/内部研修 (発達障害勉強会) | 7/21 きらら・らいすミーティング (ヘルパー研修) |
| 6/7~7/9 実習受け入れ (四天王寺大学) | 7/22 みらくるクラブ【デイキャンプ】 (奈良県平群) |
| 6/9 生野区学童期子ども支援委員会 | 7/24 生野区 NPO 連絡会総会・研修会 |
| 6/12 みらくる学習会 (進路について) | 7/26 執行委員会 |
| 6/15 食と農のプロジェクトアクションチーム会議 | 7/27 生野区子ども地域包括ケアシステム意見交流会 |
| 6/16 生野区学童期子ども支援連絡会 | 7/30 すきっぷヘルパー交流会/地域共生ケア生野推進委員会 |
| 6/16~7/7 和楽荘外壁修繕防水工事 | 8/1 サラダボウルプロジェクト・ツルつなぎプロジェクト
交流会 (松野農園) |
| 6/18 内部研修 (巽西 251 プロジェクト会議) | 8/4~9/17 実習受け入れ (桃山学院大学) |
| 6/19 子育てなんでも相談会 (生野子育て社会化研究会) | 8/6 グループホームスタッフ全体会議 |
| 6/23 生野区相談支援事業所連絡会/
生野区 NPO 連絡会 (まちあるき) | 8/11 生野区グループホーム連絡会世話人会/
サラダボウルプロジェクトヒアリング (IKUNO 多文化
ふらっと) |
| 6/25 障大連運営委員会 | 8/12 内部研修 (巽西 251 プロジェクト会議) / |
| 6/29 執行委員会/通信編集委員会/
地域共生ケア生野推進委員会役員会 | 8/26~9/30 実習受け入れ (関西大学) |
| 6/30 生野区グループホーム連絡会 (感染症研修会) | 8/20 内部研修 (巽西 251 プロジェクト会議) |
| 7/2 グループホームスタッフ全体会議/
内部研修 (巽西 251 プロジェクト会議) | 8/21 知的障がい者 (児) ガイドヘルパー養成講座①/内部研修
(発達障害勉強会) /子育てなんでも相談会 (生野子育て
社会化研究会) |
| 7/5 大阪府立桃谷高等学校就職説明会 | 8/22 知的障がい者 (児) ガイドヘルパー養成講座② |
| 7/6~28 グループホームセルフフィール (抗菌コーティング) 施工 | 8/24 執行委員会/内部研修 (てんかんについて①) |
| 7/8 対府交渉総決起集会 | 8/25 生野区 NPO 連絡会 |
| 7/12 内部研修 (巽西 251 プロジェクト会議) | 8/27 内部研修 (てんかんについて②) /地域共生ケア生野推進
委員会役員会 |
| 7/14 生野区グループホーム連絡会世話人会/生野区学童期子ども
支援連絡会 | 8/28 知的障がい者 (児) ガイドヘルパー養成講座③ |
| 7/16 生野区相談支援事業所連絡会 | |
| 7/17 内部研修 (発達障害勉強会) /子育てなんでも相談会 (生野子
育て社会化研究会) | |

正会員、寄付者として出発のなかまの会の活動をご支援ください!

- ◆正会員・・・活動を支援し、総会に参加して下さる個人の方
会費 3,000 円+通信送料 300 円 計 3,300 円
- ◆寄付者・・・活動を支援して下さる個人・団体の方
寄付金 年間 3,000 円以上
- ★認定 NPO 法人として認定されましたので、当会へのご寄付は、税制上の優遇措置
【所得税・個人住民税(大阪市内府内にお住まいの方)】を受けられるようになりました。
認定 NPO 法人として続けていくためには、年間 3,000 円以上寄付して下さる方が、
100 人以上必要です。
ご支援、ご協力よろしくお願いたします。
- ◆購読者・・・出発通信を購読して下さる方 購読料 500 円

☆振込先：郵便振替 00910-9-306080
特定非営利活動法人 出発のなかまの会



※通信の郵送がご不要の方はご一報ください。

へんしゅうこうき
編集後記

外国では外出時にワクチン接種証明書の提示の義務化とか、ワクチン接種していないと会社を辞めなければいけないニュースを見かけました。自身の体質や事情によってワクチン接種ができない人、したくない人も一定数いるはずなのに排除されちゃうのかな?…ふと私は思いました。

(マヤ・Y)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011
大阪市生野区田島 1-10-30 たびだち共働作業所内
TEL 06-6758-6641
FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080
(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)
Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp
ホームページ <https://www.tabidati.jp/>

750 部

一九八四年八月二十日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町二・二 東興ビル4階

頒価百円